

気を付けて！ しびれる足、だるい足

皆さんは「足の血管の病気」をご存知でしょうか？主に中年以降に起こる病気で、高血圧や糖尿病、喫煙歴が原因で、足に栄養を送っている血管が徐々に詰まっていくのが特徴です。早期に発見して治療するのが重要ですが、意外にも患者さんの約半数が病院に行かずに経過を見ているというデータがあります。

■症状

軽症だと歩行時にふくらはぎがだるくなり、重症になると安静にしても足の指先が痛くなったり、傷が治らなくなったりします。重症度は4段階に分類されます。

軽症

①肌色が白い。足が冷たい。
感覚障害(しびれ等)がある。

②歩行時にふくらはぎがだるくなったり、
痛くなったりするが、休むと戻る。

③安静時にも痛みがある。

重症

④壊疽

■検査

足の血圧を測ったり、血管をエコーで観察したりして、足の血流の状態を確認します。

MEDICAL
HOTLINE

診療 ホットライン

こんな時にはご用心！

■治療

カテーテル治療、バイパス治療があります。

カテーテル治療	入院期間が短く、身体への負担が小さい。
バイパス治療	入院期間が長く、身体への負担が大きいですが、治療効果はより長持ち。

当科では、カテーテル治療に習熟した医師が、病変の特性に応じて様々な治療デバイスを用いて血管治療を行っています。合併症をできるだけ少なくして、より良い医療を提供出来るよう心がけていますので、足の気になる症状がありましたら、かかりつけの先生と相談のうえ、下肢虚血外来に紹介してもらってください。



【下肢虚血外来】月曜日 9:00～(2 枠)
かかりつけの医のご紹介が必要です。
患者総合支援センターにてご予約ください。

[心臓血管内科 医長 楠本 三郎]

教えて！先生 すこやか 広場

【上手な医療の
かかり方】



11月は「みんなで医療を考える月間」です。あなたの健康と医療現場、どちらも大事にする”上手な医療のかかり方”について、一緒に考えてみましょう。



もっと詳しく知りたい方は、こちらのQRコードからご覧ください。
(上手な医療のかかり方.jp)

Q 受診すべき診療科がわからないし、総合病院の方が安心だから、みなとメディカルに行きたいんだけど…。

A 緊急の場合でなければ、まずはかかりつけ医や近くのクリニックへの受診をおすすめします。当院は、入院や手術等、より高度で専門的な診療を行う役割を担っています。皆さんが適切に受診先を選んでいただくことで、医療現場を守ることもつながります。健康に関するささいな疑問やお悩みこそ、「かかりつけ医」に相談しましょう。

Q 紹介状を持って受診する人って、実は結構少ないんじゃないですか？

A いえいえ、当院では初診患者さんのうち約8割の方が紹介状を持って受診されています。当院あての紹介状がなく初診で受診されると、診療費に加えて選定療養費7,700円がかかります。紹介状を持って総合病院を受診することで、患者さんの金銭面の負担が減るだけでなく、日頃の健康状態をきちんと把握したうえでの専門的な治療を受けることができます。

かかりつけ医をお探しの方は、1階みなとさぼーと前の医院紹介パンフレットもご利用ください！

